

DVD「人間を取り戻せ！ 大久保製塩闘争の記録」 差別・抑圧とたたかう原点がある

評者 河添 誠(首都圏青年ユニオン書記長)



1975年から始まった大久保製塩闘争の名物「路地裏デモ」。

このDVDは全国一般東京東部労組大久保製塩闘争の記録である。大久保製塩は、知的障害・身体障害者の雇用をすすめるが、その一方で障害者に対する賃金差別、暴力が職場を支配していた。それに対して、知的障害・身体障害をもつ労働者が主体となつて労働組合を結成し、差別と暴力支配との闘争を70年代半ばに開始する。

このたたかひの映像は文句なくつよい感動をよぶ。それは障害をもつ労働者自身がみずからの権利にめざめて、この映像では「階級的憎しみ」と表現されているような深い憤りを言葉と行動として表現していることによる。哀れみの対象ではなく、権利をつかみとり差別とたたかう主体としての姿がはつきりと映像に記録されているのだ。

闘争に立ち上がった労働者の親たちが会社からの差し金もあつて争議をやめるように「説得」にやつてくるのだが、それに対して自分たちがどのような思いで立ち上がったかを正面からぶつけて反論している杉田委員長(当時)の表情に、私はたたかう者の普遍的な姿を見ることができた。抑圧され続けた者が逡巡しながらも声をあげるときに、その言葉には誰もが耳を傾けざるを得ない力がこもる。

会社の組合つぶしの策略が横行する中で、職場の仲間に裏切られることもありながらも、どうやって職場の多数派に影響をもつかということに議論して行動していく、これぞ職場の労働組合活動という見本のようなエピソードも出てくる。他の労組、地域の諸団体との連携で争議の勝利を勝ち取っていく運動の展開もわくわくさせられる。

この映像から、私にはいくつかが重なるように思ひ起こされた。一つは、障害者自立支援法の廃止を求めめる大集会に参加している障害をもつ人々の姿だ。もうひとつは、

労働者派遣法の抜本改正を求めて国会前で訴えている、「派遣切り」にあつた派遣労働者たちの姿だ。彼らの「表情」は、大久保製塩でたたかう労働者たちの「表情」と私には重なつて見えた。現在、進行しているたたかひも、いくつもの差別と人権侵害ともいえる労働・生活とのたたかひである。いつの時代も差別や人権侵害にギリギリのところであつたかう人たちがいる。そして、差別や人権侵害を許さずによつてたかつて「支援する仲間が存在する。それは労働組合であり、地域の支援だつたり、さまさまだが、そうしたひろがりがあつて権利は勝ち取られていく。一人ひとりの人間の決意と、そして、それを支える仲間の存在があつて勝利は勝ち取られていく。大久保製塩闘争の記録は、いまの私たちのたたかひと確実につながっている。

DVD「人間を取り戻せ！大久保製塩闘争の記録」

1枚 2500円

お支払いはDVDに同封します
郵便用紙でお願いいたします。

収益は不当解雇撤回を闘っている当労組の阪急トラベルサポート(HTS)支部塩田委員長支援カンパとします。

「大久保DVDを注文」と明記のうえ、①お名前、②お届け先住所、③電話番号、④注文枚数をご記入ください。

申込先：全国一般東京東部労組「大久保DVD」係宛
〒125-0062 東京都葛飾区青戸3-33-3 野々村ビル1階
fax 03-3690-1154 メール info@toburoso.org

お支払いはDVDに同封の郵便局の口座振替払い込み用紙でお願いいたします。

もつた労働者のたたかひの記録ではあるが、同時に、それだけにとどまらない。この映像は一労働組合一支部のたたかひの記録ではあるが、それだけにはとどまらない。あらゆる差別・あらゆる抑圧とたたかう社会運動の普遍的な姿を見事に記録している。そこに深い感動を呼ぶ根拠がある。

多くの方に、自分たちのたたかひの原点を確認して、現在のたたかひを前進させるために観ていただきたい。